

学校だより



岡山市立平井小学校
令和6年9月27日
[http://www.city-okaya
ma.ed.jp/~hirais/](http://www.city-okaya.ma.ed.jp/~hirais/)

平井小のホームページで「学校だより」をカラーで見ることができます。

学校教育目標：「明日を楽しみにできる学校」

2学期始業式校長の話

1学期の終業式に、40日間の夏休みの自由時間を、自分で上手にデザインして、素敵な夏休みにしてねというお話をしました。ひとりひとり、いい夏休みを作ることができましたか？

さて、この夏休みの間に、オリンピックがフランスのパリで行われました。テレビで応援した人もいるでしょう。体操の岡選手など、岡山出身の選手も大活躍していましたね。

校長先生は、女子スケートボードが印象に残りました。スケートボードの種目は、限られた時間の中で自分の得意な技を披露し、審査員が採点して得点を争う競技です。自分の力を発揮しようとても緊張している中でも、選手たちは楽しそうに演技を行っています。さらに、それぞれの選手の技が成功した時、ライバルである周りの選手と一緒に喜び合っているのです。

表彰が終わった後のインタビューの中で、金メダルを獲得した日本の選手が「お互いを励まし合うことで楽しく競技に参加できます。」と語ると、銅メダルの選手が「お互いを必要としていると思う。そうすればみんな成長できる。みんなファミリーの一員です。お互いの技を褒め合って。それはすごく大事」と言っていました。銀メダルの日本人選手も「大会中に仲間が応援し合ったり、たたえ合ったりするのは緊張がほぐれるし、それでいい演技ができたたりするのはすごくいい」と、うなずいていました。

スケートボードとは違う他の競技でも、負けた選手が勝った選手に、「ありがとう」と伝えることもあるそうです。「私よりも強かったあなたのおかげで自分ももっと強くなりたいと思える。自分ももっと成長できる。」という思いを「ありがとう」という言葉で伝えるのだそうです。他の人の存在が自分の成長につながるのですね。2学期は、仲間と褒め合い励まし合って、心や体や頭を鍛え、強く大きく成長するチャンスがいっぱいあります。自分を成長させて、実りの多い2学期を今日からつくってほしいと思います。

談会に向けてご尽力くださった地域の皆様・PTA役員の皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。

平井ふれあい夏祭り

7月20日（土）に、「平井ふれあい夏祭り」が開催されました。地域の方や保護者の方が前日から祭りの準備をし、当日も交通整理や運営に携わっていただきました。校長先生も今年は盆踊りに参加しました。最初は少し恥ずかしと思いながらも、地域の方、保護者の方、子ども達と音楽に合わせて一緒に踊っていくうちに自然と笑顔で夢中になって踊っている自分がいました。大勢の子ども達が「楽しい」と言いながら笑顔いっぱいに参加していました。準備・運営に携わってくださった地域の方、保護者の方、自分たちで祭りを盛り上げようという役割をもって参加した児童の皆さんありがとうございました。



裏面もご覧ください

ICT 化も進む中で、大切にしたい子どもとの人間関係づくり

授業や日常生活の中で子どもたちは、どんどんクロムブックを活用できるようになってきています。1学期の途中から4年生以上がクロムブックを毎日持ち帰っていましたが、2学期からは2年生と3年生の毎日持ち帰りが始まりました。子ども達がクロムブックに慣れてきた分、家庭学習もクロムブックを活用してできるようになってきていると思います。

平井小学校では、ICTを活用するなどして教職員の業務改善も進めており、教職員が心に余裕をもつことで、授業の準備をする時間や、より丁寧に子どもとの信頼関係を築く時間を生み出せるように努めています。

夏季休業中には、教職員のスキルアップのためにICT活用や、子どもとのより良い人間関係づくりを大切にする「コーチング的なかわり方」などについての職員研修をしました。「コーチとは、相手が目的としているところまで運ぶ」という意味があるそうです。コーチングで大切にしている「傾聴」「承認」「質問」について教えていただきました。これからの教育の在り方として、「ティーチング（教える）」だけでなく、「コーチング（気付かせて伴走する）」的な関りも取り入れていくことの大切さを国も言い始めています。教職員が子どもの声に耳を傾け、子どもの思いを受け止め、気付きを促しながらよりよい方向に導いていく中で、児童が他者への思いやりの気持ちをもちながらも自分の思ったことや考えを発言しやすい雰囲気为学校全体でつくっていかうと努めていきます。

今後、保護者の方々とのやり取りや日程調整などについてもICT化が進んでいくと思います。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

登校時の見守りあいかがとうございます

夏休み明けや秋の交通安全週間の期間中に、地域の方や保護の方が登校の見守りを強化してくださっています。朝の登校指導については、昨年度より地域と保護者が担ってくださっていて、教職員は教室で子どもたちを迎えることができるようになりました。ご理解とご協力をありがとうございます。引き続き地域の青パト隊や保護者の方々には子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。

パワーアップデー(9月)の結果

9月10日に実施したメディアコントロールの取組「第3回パワーアップデー」の結果をお知らせします。当日の朝、生活委員会の人靴箱のところに立って呼びかけてくれました。結果を見てみると、回を重ねるごとに未提出者が減っていることが分かります。また、より難しいうさぎさんコースやいぬさんコースに挑戦している子どもも少しずつ増えてきていることが分かります。コメントを紹介します。



【子ども】メディアを観ないと、いつもより余裕をもって過ごすことができ、早く寝ることができたし、外で遊ぶことができた。

【保護者】「今日はゲームをしない」と決め、外に遊びに行っていました。夏休み中もゲームを全くしなかったのので、ゲームへの執着がなくなったように感じます。たまにするけれどもしなくても平気になり、時間の流れ方が違う気がします。以前に増して本をよく読むようになりました。

メディア以外の過ごし方も手に入れてきた子どもや、そんなお子さんの変容を感じているお家の方もいらっしゃる、ありがたいです。

